

注意信号	列車または車両は、つぎに停止信号の現示があること（停止信号の現示がないときは停止位置があること）を予期して、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
減速信号	列車はつぎに警戒信号または注意信号の現示があることを予期して、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
進行信号	列車または車両は、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
誘導信号	列車は進路に列車または車両があることを予期して、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
停止中継信号	列車は主体の信号機が停止信号を現示していることを予期して、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
制限中継信号	列車は主体の信号機が警戒信号または減速信号を現示していることを予期して、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
進行中継信号	列車は主体の信号機が進行信号を現示していることを予期して、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
徐行信号	列車または車両は、現示された徐行速度以下の速度で、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
徐行予告信号	列車または車両は、つぎに徐行信号の現示があることを予期して、信号の現示箇所をこえて進行することができる。
徐行解除信号	列車または車両は、信号の現示箇所をこえた後に、現示された徐行速度をこえる速度で進行することができる。

2 信号の現示方式

(1) 場内信号機・出発信号機および閉そく信号機

種類	現示の方式			
	3位式		2位式	
	色灯式	色灯式	腕木式	
			昼間	夜間
停止信号	赤色灯	赤色灯	腕水平	赤色灯
警戒信号	上位橙黄色灯	上位橙黄色灯	上位腕左下向45°	上位橙黄色灯
	下位 "	下位 "	下位腕左下向45°	下位橙黄色灯
注意信号	橙黄色灯			
減速信号	上位橙黄色灯			
	下位緑色灯			
進行信号	緑色灯	緑色灯	腕左下向45°	緑色灯

(2) 誘導信号機

種類	現示の方式	
	灯列式	
誘導信号	白色灯列左下向	45°

(3) 入換信号機

種類	現示の方式	
	灯列式	
	3位式	2位式
停止信号	白色灯列水平	白色灯列水平
注意信号	白色灯列左下向45°	
進行信号	白色灯列垂直	白色灯列左下向45°

(4) 遠方信号機

種類		現示の方式			
		3位式		2位式	
		色灯式	色灯式	腕木式	
				昼間	夜間
主体の信号機が停止信号を現示するとき	注意信号	橙黄色灯	橙黄色灯	腕水平	橙黄色灯
主体の信号機が警戒信号を現示するとき	減速信号	上位橙黄色灯	上位橙黄色灯		
		下位緑色灯	下位緑色灯		
主体の信号機が注意信号または進行信号を現示するとき	進行信号	緑色灯	緑色灯	腕左下向45°	緑色灯

(5) 通過信号機

種類		現示の方式		
		2位式		
		色灯式	腕木式	
		昼間	夜間	
主体の信号機が停止信号を現示するとき	注意信号	橙黄色灯	腕水平	橙黄色灯
主体の信号機が進行信号を現示するとき	進行信号	緑色灯	腕左下向45°	緑色灯

(6) 中継信号機

種類		現示の方式	
		灯列式	
		主体の信号機が3位式の場合	主体の信号機が2位式の場合
主体の信号機が停止信号を現示するとき	停止中継信号	白色灯列水平	白色灯列水平
主体の信号機が警戒信号・注意信号または減速信号を現示するとき	制限中継信号	白色灯列左下向45°	
主体の信号機が進行信号を現示するとき	進行中継信号	白色灯列垂直	白色灯列左下向45°

(三和達忠)

しんごうこうあつはいでんせん 信号高圧配電線(路) 自動閉そく式により運転している線区、自動閉そく区間の軌道および信号機等に電力を供給するため、特に鉄道沿線に専用に設けられている自動高圧配電線(路)。自動信号方式は、閉そく方式としては優秀な方法であるが、一面きわめて微妙な電気機器を組合わせているため、電源としても良質な電力を必要とし、かつ信号機は列車運転に直結するため、停電等は絶対に避けなければならない。しかし配電線としての負荷状況はきわめて軽く、単位キロあたり2~3kw/km程度で、しかもこの負荷はだいたい一定負荷とみなしうる。しかし配電線路の亘(こう)長は20~30kmと比較的に長い等、一般の高圧配電線路とは、その性格にいちじるしい差異がある。

信号高圧配電線路は、変電区(所)~変電区(所)間または、配電室~配電室間を結ぶ配電線路といずれの電源が停電しても、ただちに切替配電できるよう、2系統の電源を入れることを原則とし、電源電圧の変動にも、ただちに自動電圧調整器により、これを補償するなどして、良質な電力を確保している。配電方式としては、負荷がきわめて軽いため、だいたい22mm²硬銅線(架空高圧配電線路として、許容される最小断面積の電線)・単相・3,300V配電方式で十分であるが、継電連動装置があると